



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 U R L <https://www.sdcj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 饗元 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理業務担当 (氏名) 長谷 賢一 T E L 03-6737-5000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 7,403	% 5.4	百万円 387	% 38.5	百万円 408	% 36.8	百万円 263	% 52.0
2025年3月期第3四半期	7,024	△0.4	279	△31.7	298	△33.1	173	△35.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 270百万円 (66.6%) 2025年3月期第3四半期 162百万円 (△39.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 77.15	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	50.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 6,510	百万円 4,733	% 72.7
2025年3月期	6,394	4,616	72.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,733百万円 2025年3月期 4,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 10,058	% 4.7	百万円 572	% 25.9	百万円 588	% 23.1	百万円 375	% 26.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	3,500,000株	2025年3月期	3,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	81,514株	2025年3月期	81,514株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	3,418,486株	2025年3月期 3Q	3,415,809株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報、（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復の動きが見られる一方、米国の通商政策の影響など、海外景気の下振れによる景気の下押しリスクがあります。また、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響も十分注意する必要があります。

当社グループの属する情報サービス分野においては、日銀短観（2025年12月調査）におけるソフトウェア投資計画は、全産業において増加傾向にある等、事業拡大や競争力強化を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）関連のIT投資需要がさらに拡大しております。

このような事業環境を踏まえ、当社グループでは、「デジタルサービス企業として、価値ある技術・サービスを提供し続ける」ことを目指し、2024年3月期より第8次中期経営計画を推進しております。本経営計画では、「ONESdc ーステークホルダーとともに新たなステージへー」を基本メッセージに掲げ、「安定的収益を拡大する」、「社会の持続的な成長に貢献する」の2つをビジョンとして定め、さらに、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の実践にも注力しております。具体的には、システム開発事業においては、ソリューションビジネスの拡充を進める中、新たなビジネスモデル形成に向けた重要な布石として、IoTベンチャー企業と資本業務提携を行い、AI統合ソリューションを共同で開発いたしました。また、アウトソーシング事業においては、オンラインビジネスの強化等に引き続き取り組んでおります。併せて、昨年特定したマテリアリティ（重要課題）の解決に向け、サステナビリティ推進委員会の下、環境面では温室効果ガス排出削減目標でSBT認定を申請し取得いたしました。社会面ではDE&I（ダイバーシティエクイティ&インクルージョン）を推進するべく、障がい者就労の新しい形への挑戦を継続するとともに、障がい者就労支援企業から作品を購入しました。また、11月には当社グループの人権方針を策定いたしました。今後も、当社グループ全体の企業理念である「ステークホルダーとともに社会の持続的な成長に貢献する」の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、昨年受注した大規模案件の継続、既存取引先からの請負案件の増加に加え、昨年実施した人的資本への先行投資や本社移転費用等の減少もあり、前年同期比で業績は大きく改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,403,131千円（前年同期比5.4%増）、営業利益は387,269千円（前年同期比38.5%増）、経常利益は408,173千円（前年同期比36.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は263,747千円（前年同期比52.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、昨年受注した大規模案件の継続や既存取引先からの請負案件の増加に加え、子会社の業績も順調に推移しました。さらに、本社移転費用の減少もあったことから、売上、利益共に増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,189,896千円（前年同期比10.2%増）、営業利益は308,957千円（前年同期比36.6%増）となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、子会社業績が低調に推移したため、売上は伸び悩みましたが、業務効率化や本社移転費用の減少があったため、利益は増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,213,235千円（前年同期比0.3%減）、営業利益は78,311千円（前年同期比46.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加等により前期末比115,756千円増の6,510,583千円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の発生による利益剰余金の増加等により前期末比117,126千円増の4,733,946千円となり、自己資本比率は72.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,939,886	3,027,880
受取手形、売掛金及び契約資産	1,639,710	1,504,218
商品及び製品	52,367	44,358
仕掛品	3,731	9,162
原材料及び貯蔵品	1,882	1,231
短期貸付金	100,000	100,000
その他	92,885	100,700
貸倒引当金	△1,392	△1,051
流动資産合計	4,829,071	4,786,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	387,962	387,962
減価償却累計額	△235,232	△244,903
建物及び構築物（純額）	152,729	143,059
土地	84,919	84,919
リース資産	29,604	40,093
減価償却累計額	△11,985	△16,232
リース資産（純額）	17,618	23,861
その他	184,987	185,818
減価償却累計額	△106,583	△118,038
その他（純額）	78,403	67,780
有形固定資産合計	333,671	319,620
無形固定資産		
のれん	54,342	19,236
ソフトウェア	10,003	7,175
その他	6,787	10,948
無形固定資産合計	71,133	37,359
投資その他の資産		
投資有価証券	171,164	302,484
繰延税金資産	242,642	239,716
保険積立金	524,439	602,888
その他	222,703	222,012
投資その他の資産合計	1,160,949	1,367,102
固定資産合計	1,565,755	1,724,082
資産合計	6,394,826	6,510,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,565	29,739
リース債務	5,716	6,431
未払金	628,074	575,682
未払法人税等	84,876	81,318
契約負債	46,937	54,800
受注損失引当金	4,749	-
賞与引当金	190,383	101,564
その他	201,194	337,715
流動負債合計	1,214,498	1,187,253
固定負債		
リース債務	13,664	19,357
役員株式報酬引当金	42,250	62,694
退職給付に係る負債	472,145	471,884
資産除去債務	3,282	3,282
その他	32,165	32,165
固定負債合計	563,508	589,384
負債合計	1,778,007	1,776,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	298,270	298,270
利益剰余金	4,010,902	4,120,817
自己株式	△39,314	△39,314
株主資本合計	4,603,764	4,713,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,073	30,130
退職給付に係る調整累計額	△9,018	△9,864
その他の包括利益累計額合計	13,054	20,265
純資産合計	4,616,819	4,733,946
負債純資産合計	6,394,826	6,510,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,024,106	7,403,131
売上原価	5,467,771	5,767,812
売上総利益	1,556,334	1,635,319
販売費及び一般管理費	1,276,680	1,248,049
営業利益	279,654	387,269
営業外収益		
受取利息	4,298	4,998
受取配当金	4,050	4,577
受取返還金	-	3,809
助成金収入	9,318	6,546
その他	986	972
営業外収益合計	18,653	20,904
経常利益	298,307	408,173
特別利益		
固定資産売却益	3,690	-
特別利益合計	3,690	-
特別損失		
固定資産除却損	3,983	-
本社移転費用	7,321	-
特別損失合計	11,305	-
税金等調整前四半期純利益	290,692	408,173
法人税等	117,218	144,426
四半期純利益	173,473	263,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,473	263,747

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	173,473	263,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,922	8,056
退職給付に係る調整額	△2,919	△845
その他の包括利益合計	△10,842	7,210
四半期包括利益	162,631	270,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,631	270,958
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

当社の四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	23,551千円	28,201千円
のれんの償却額	58,696	35,106

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	3,802,548	3,221,557	7,024,106	-	7,024,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,802,548	3,221,557	7,024,106	-	7,024,106
セグメント利益	226,220	53,434	279,654	-	279,654

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,189,896	3,213,235	7,403,131	-	7,403,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,189,896	3,213,235	7,403,131	-	7,403,131
セグメント利益	308,957	78,311	387,269	-	387,269

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム開発	アウトソーシング	計		
一時点で認識する収益 一定の期間にわたり認識する収益	242,825 3,559,723	193,038 3,028,519	435,863 6,588,242	- -	435,863 6,588,242
顧客との契約から生じる収益	3,802,548	3,221,557	7,024,106	-	7,024,106
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,802,548	3,221,557	7,024,106	-	7,024,106

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム開発	アウトソーシング	計		
一時点で認識する収益 一定の期間にわたり認識する収益	421,416 3,768,480	180,788 3,032,446	602,204 6,800,926	- -	602,204 6,800,926
顧客との契約から生じる収益	4,189,896	3,213,235	7,403,131	-	7,403,131
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	4,189,896	3,213,235	7,403,131	-	7,403,131